

民営化5年半の取組み

2011年7月29日

東日本高速道路株式会社

中日本高速道路株式会社

西日本高速道路株式会社

目次



1. 民営化の趣旨とその成果

(1)有利子負債の確実な返済	1
(2)有料道路の早期かつ効率的な整備	3
(3)民間ノウハウの発揮による多様なサービスの提供	6

2. NEXCO各社による主な取組み

(1)経営上の取組み	10
(2)「安全・安心・快適」な高速道路空間の提供	12

1. 民営化の趣旨とその成果

(1) 有利子負債の確実な返済①

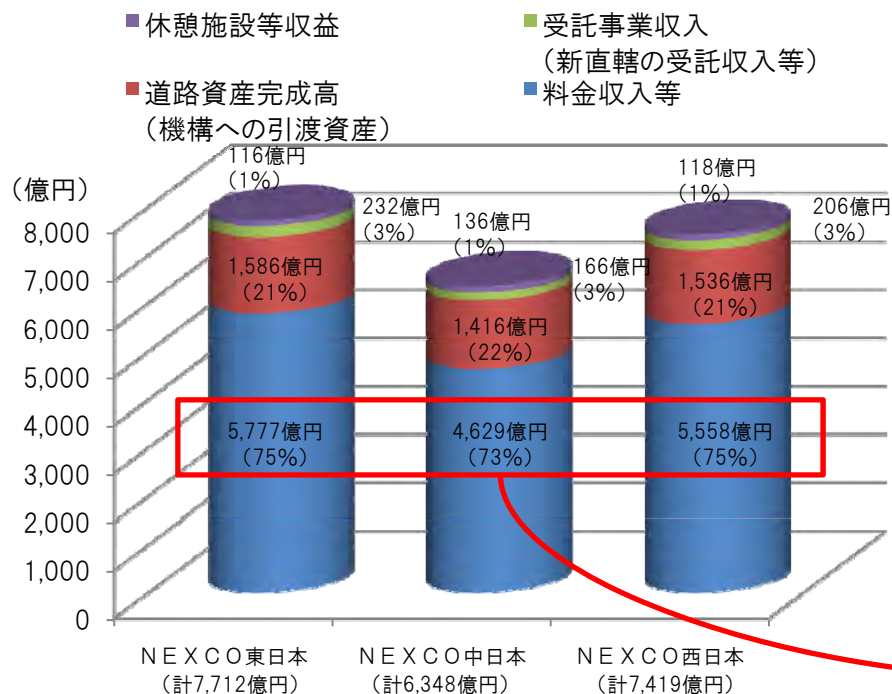


NEXCO3社の収益・費用構成(2010年度決算)

○NEXCO3社の営業収益の約74%は、高速道路の料金収入等*

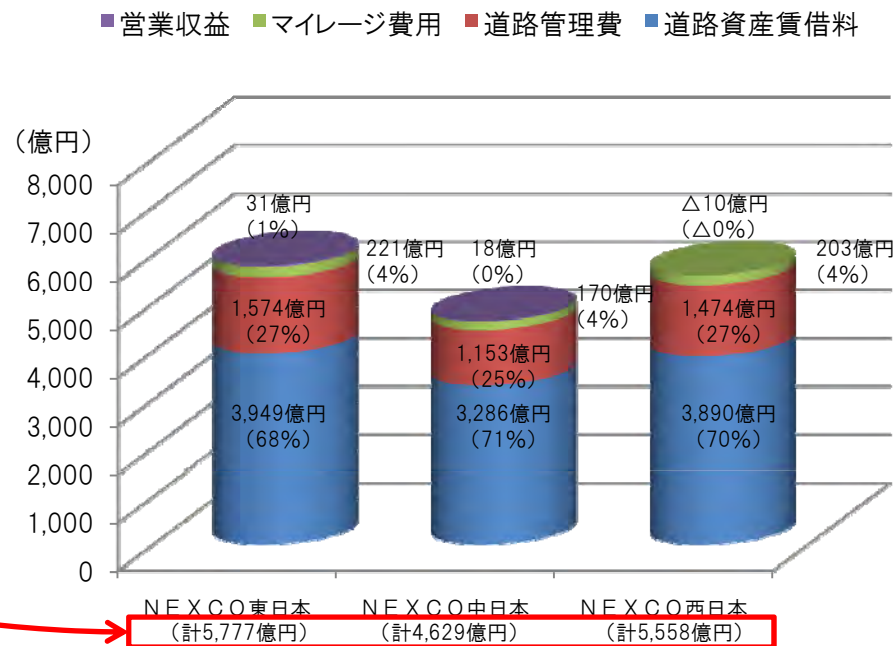
○料金収入等の約70%を道路資産賃借料として高速道路機構に支払い、残りの約30%を道路管理に充て、適切な道路管理を実施

① 営業収益の内訳(単体)



NEXCO3社の料金収入等計(1兆5,965億円)
 / 営業収益計(2兆1,480億円) = 74%

② 料金収入等に対する営業費用構成



NEXCO3社の道路資産賃借料計(1兆1,127億円)
 / 料金収入等計(1兆5,965億円) = 70%

※料金収入等には料金収入の他、社会実験補てん等が含まれている。数字は億単位で切り捨てて記載している事から合計が合わないことがある。

1. 民営化の趣旨とその成果

(1) 有利子負債の確実な返済②



着実な賃借料・納税等の支払いを実施

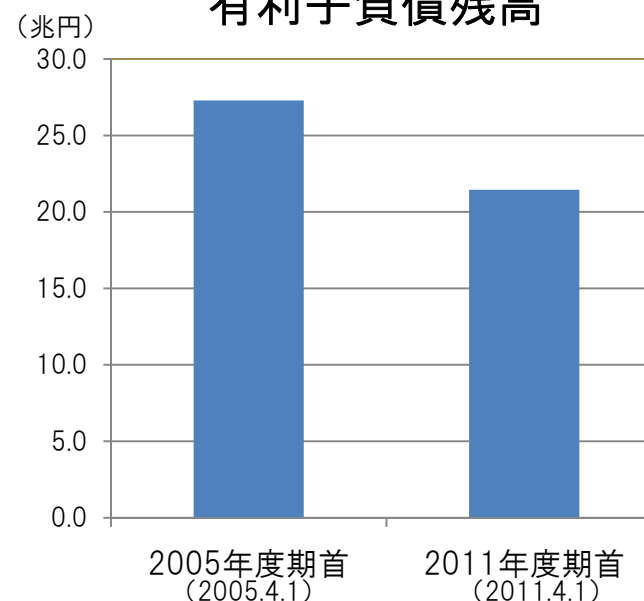
- 民営化後の5年半で、NEXCO3社合計で約7兆円の賃借料を高速道路機構に支払い
- さらに、891億円の法人税等を計上するとともに、株主(国)への配当原資となる利益剰余金を1,010億円積立
(民営化直前は旧JHへ年間約3,000億円の国費(金利負担軽減のための出資金)を投入)

(単位:億円)

	NEXCO 東日本	NEXCO 中日本	NEXCO 西日本	計
道路資産賃借料	25,751	22,238	24,254	72,244
法人税等	277	331	281	891
利益剰余金	254	417	337	1,010

※民営化後5年半(2005.10~2011.3)の累計値
※端数処理の関係上、計数が合わないことがある。

有利子負債残高



注1: NEXCO3社が管理する高速自動車国道とネットワーク型一般有料道路
注2: 上記には、高速道路利便事業に係る債務承継額(2.2兆円)を含んでいる
注3: 有利子負債残高は機構分で会社の有利子負債は含まない

1. 民営化の趣旨とその成果

(2) 有料道路の早期かつ効率的な整備①



民営化からの5年半の間に、NEXCO3社合計で約480kmを新規開通

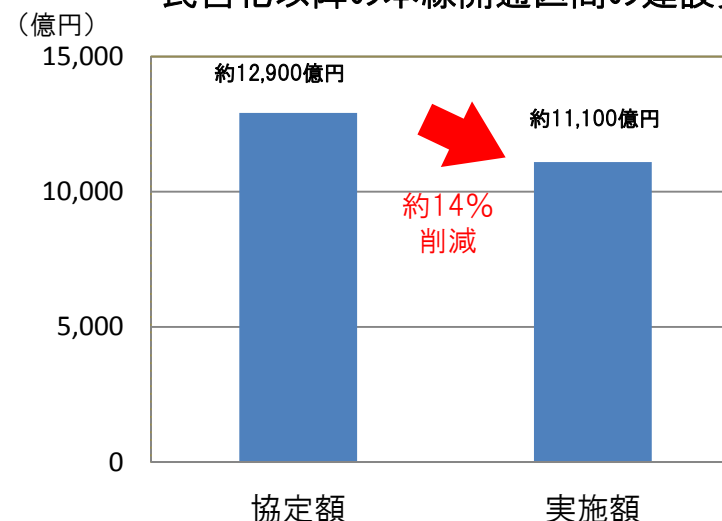
○高速道路機構との協定に基づく完成年度と債務引受限度額の公表により、納期とコストに対する意識がより高まり、低コスト(約14%削減)で、早期開通(平均約4カ月短縮)を実現:開通箇所は「別紙」参照

【民営化後の新規区間の開通実績】

道路名	区間名	開通年月日	延長(km)	短縮期間
東京外環道	三郷JCT～三郷南IC	2005/11/27	4	協定どおり
東九州道	北九州JCT～苅田北九州空港IC	2006/2/26	8	協定どおり
紀勢道	大宮大台IC～勢和多気JCT	2006/3/11	14	0.5カ月短縮
道央道	八雲IC～国縫IC	2006/11/18	22	0.5カ月短縮
山陰道	宍道JCT～斐川IC	2006/11/25	5	1カ月短縮
中部横断道	増穂IC～南アルプスIC	2006/12/16	6	3カ月短縮
圏央道	つくば牛久IC～阿見東IC	2007/3/10	12	0.7カ月短縮
圏央道	木更津東IC～木更津JCT	2007/3/21	7	0.3カ月短縮
圏央道	八王子JCT～あきる野IC	2007/6/23	9	3カ月遅延
館山道	君津IC～富津中央IC	2007/7/4	9	3カ月短縮
道東道	トナムIC～十勝清水IC	2007/10/21	21	1カ月短縮
阪和道	みなべIC～南紀田辺IC	2007/11/11	6	4.5カ月短縮
北関東道	笠間西IC～友部IC	2007/11/14	9	0.5カ月短縮
第二京阪道路	阪神高速接続部～巨椋池IC	2008/1/19	1	協定どおり
新名神	亀山JCT～甲賀土山IC	2008/2/23	13	13カ月短縮
新名神	甲賀土山IC～草津田上IC	2008/2/23	29	13カ月短縮
北関東道	伊勢崎IC～太田桐生IC	2008/3/8	16	7カ月短縮
北関東道	宇都宮上三川IC～真岡IC	2008/3/15	8	0.5カ月短縮
圏央道	鶴ヶ島JCT～川島IC	2008/3/29	8	協定どおり
北関東道	桜川筑西IC～笠間西IC	2008/4/12	9	6カ月短縮
東九州道	津久見IC～佐伯IC	2008/6/28	13	3カ月短縮
東海北陸道	飛騨清見IC～白川郷IC	2008/7/5	25	3カ月遅延
北関東道	真岡IC～桜川筑西IC	2008/12/20	15	12カ月短縮
紀勢道	大宮大台IC～紀勢大内山IC	2009/2/7	10	2カ月短縮
横浜横須賀道路	佐原IC～馬堀海岸IC	2009/3/20	4	0.3カ月短縮
圏央道	阿見東IC～稲敷IC	2009/3/21	6	0.3カ月短縮
東海環状道	美濃関JCT～関広見IC	2009/4/18	3	0.5カ月遅延
日本海東北道	中条IC～荒川胎内IC	2009/7/18	10	2カ月短縮
常磐道	山元IC～亘理IC	2009/9/12	12	12カ月短縮
道央道	落部IC～八雲IC	2009/10/10	16	13カ月短縮
道東道	占冠IC～トナムIC	2009/10/24	26	1カ月短縮
山陰道	斐川IC～出雲IC	2009/11/28	14	4カ月短縮
圏央道	海老名JCT～海老名IC	2010/2/27	2	1カ月短縮

道路名	区間名	開通年月日	延長(km)	短縮期間
東関東道	茨城空港北IC～茨城町JCT	2010/3/6	9	0.7カ月短縮
第二京阪道路	枚方東IC～門真JCT	2010/3/20	17	協定どおり
佐世保道路	佐世保みなとIC～佐世保中央IC	2010/3/20	3	協定どおり
仙台北部道路	利府しらかし台IC～富谷JCT	2010/3/27	7	協定どおり
圏央道	川島IC～桶川北本IC	2010/3/28	6	協定どおり
北関東道	佐野田沼IC～岩舟JCT	2010/4/17	5	23カ月短縮
圏央道	つくば中央IC～つくばJCT	2010/4/24	4	0.7カ月短縮
東九州道	高鍋IC～西都IC	2010/7/17	12	9.5カ月短縮
東九州道	門川IC～日向IC	2010/12/4	14	4カ月短縮
北関東道	太田桐生IC～佐野田沼IC	2011/3/19	19	12カ月短縮
名二環	名古屋南JCT～高針JCT	2011/3/20	13	0.3カ月短縮
合計			480	

民営化以降の本線開通区間の建設費

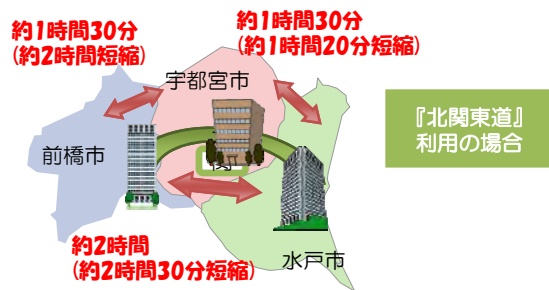


1. 民営化の趣旨とその成果

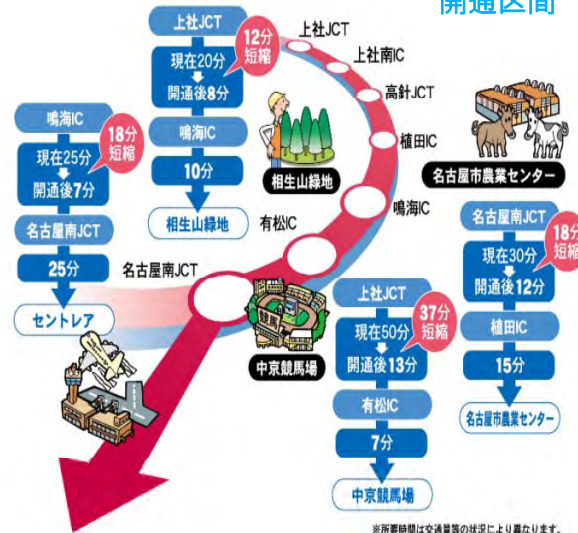
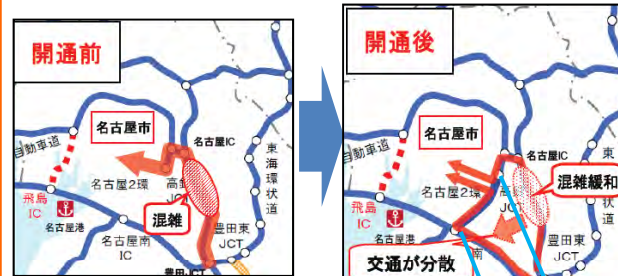
(2) 有料道路の早期かつ効率的な整備②

事業のスピードアップによる早期開通は、地域社会や地域経済等の活性化、交通渋滞の緩和・解消、環境負荷低減に大きく寄与

開通効果(北関東道全通の例)



開通効果(名二環の例)



開通効果(第二京阪の例)



1. 民営化の趣旨とその成果

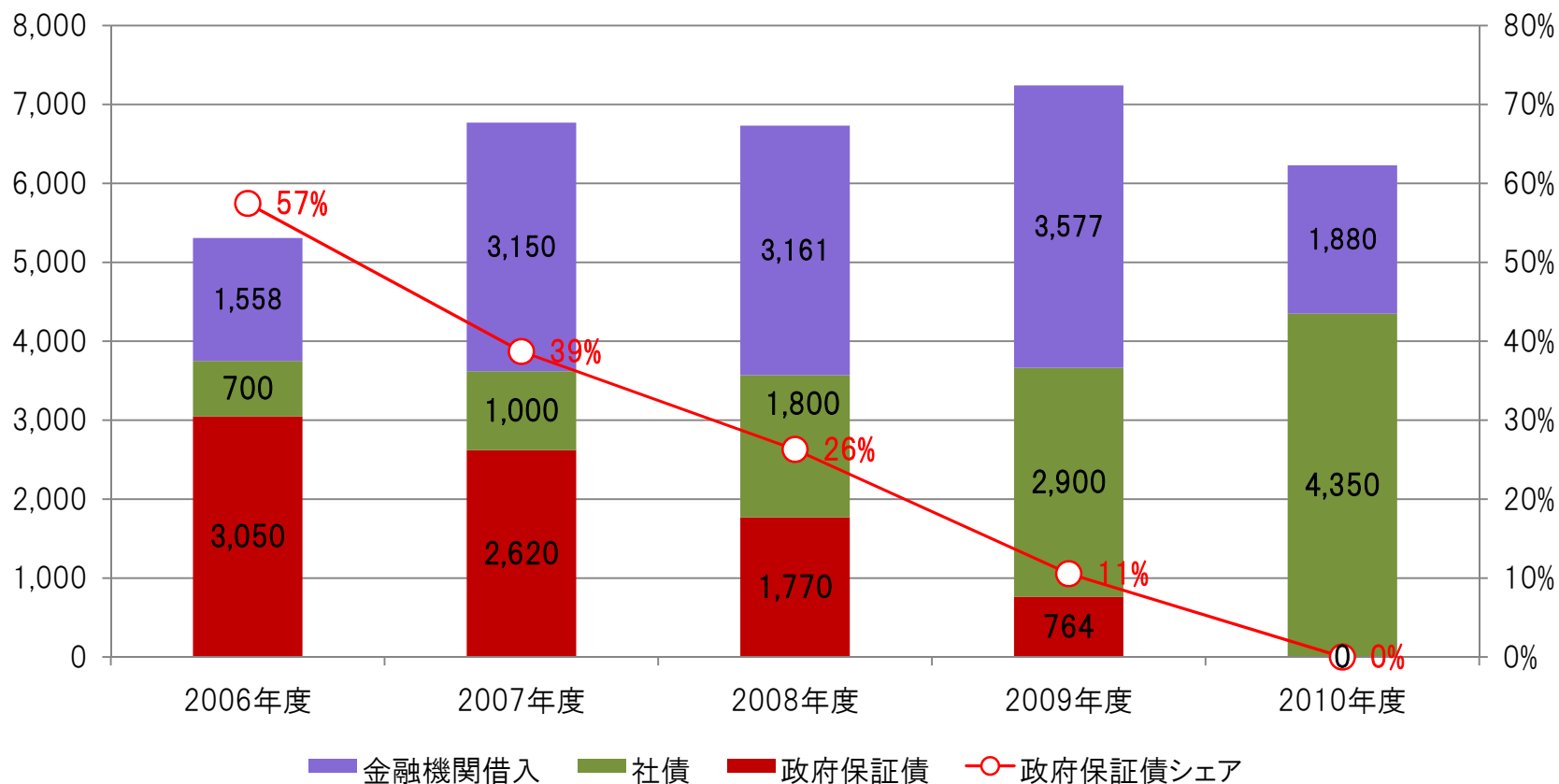
(2) 有料道路の早期かつ効率的な整備③



民営化に伴う資金の自主調達、格付け確保の努力(国債並み)

- 民営化以降、着実かつ安定的に資金調達を実施(社債の格付けも国債並み)
- 政府保証債は段階的に低減し、2010年度以降、必要資金はすべて自主調達

単位:億円



1. 民営化の趣旨とその成果

(3) 民間ノウハウの発揮による多様なサービスの提供①



深夜割引などの時間帯割引、大口・多頻度割引やマイレージサービス等を実施。また、NEXCO各社の経営判断により企画割引などの独自割引を実施。

ETC割引の種類



深夜割引



早朝深夜割引



通勤割引



マイレージ・大口多頻度



ETCでご利用のお客さま向け「ドラ割」

- ①商品名
えちごトキめきフリーパス
- ②対象期間
平成22年9月17日～12月17日
- ③ご利用料金
9,000円(普通車,3日間パス)
- ④特典
SAでの食事や新潟県内観光施設等での優待

国道23号の橋梁補修補強工事に伴う
伊勢湾岸道の料金割引

- ①対象期間
平成21年10月1日～平成22年4月13日
平成22年10月1日～平成23年3月25日
- ②割引内容
国道23号 木曾川大橋・揖斐長良大橋の工事車線規制により、国道23号・国道1号の渋滞が発生することから、高速道路を迂回路としてご利用していただくため、並行する伊勢湾岸道 みえ川越IC～飛島IC間の料金を最大5割引

大手旅行代理店(JTB)とのタイアップによる新たなドライブ旅行商品として、周遊型料金割引を実現

- ①商品名
ぶらり中国道・山陽道フリーパス
- ②対象期間
平成20年9月5日～12月8日の金・土・日・月
- ③概要
中国地区を周遊エリアとした乗り放題割引を導入(JTB企画の旅行商品との特典あり)

1. 民営化の趣旨とその成果

(3) 民間ノウハウの発揮による多様なサービスの提供②-1 【東日本高速道路株式会社】

サービスエリア・パーキングエリア事業、海外・カード・ホテル業などの関連事業を各社独自に展開

サービスエリア・パーキングエリア事業

「あるから利用する施設」から「利用したくなる施設」への転換のため【Pasar】ブランドを創出



“自然と調和したナチュラルモダン” Pasar三芳(関越道)

おもてなしの空間をPA全体で創造した「テーマ型エリア」を、地域にふさわしい旅のドラマを演出するものとして「ドラマチックエリア」を整備



『星の王子さま』寄居 PA④(テーマ型)



横川SA⑤⑥(ドラマチックエリア)

全てのお客さまに快適にご利用いただける休憩施設の創出(段差の解消、身体障がい者の方の専用駐車スペースなどを整備)



トイレのリニューアル(段差解消等)



段差解消



障がい者駐車場



地域の食材を活かした【ドラ弁】



情報誌

ハイウェイウォーカー

Webサービス事業、カード事業

◇E-NEXCOドライブプラザ

アクセス実績(約350万件/月)



◇E-NEXCO pass
カード発行



「E-NEXCO pass」
(ETCカード)

ホテル事業、高架下活用事業



E-NEXCO LODGE (佐野SA)



高架下駐車場

海外の高速道路事業への参画



アルジェリア東西高速道路400キロ区間の建設を受注した日本の共同企業体への技術協力(2007年8月～2010年6月)



インド事務所をグルガオン市に設置

ムンバイ湾横断道路の整備に向けた計画調査に参加(2009年8月～2010年2月)

チェンナイ～バンガロール間の高速道路整備に向けた計画調査に参加(2011年8月～予定)

インド国首都
ニューデリー

ハイデラバード外環事業ITS整備に向けた支援プロジェクトに参加(2010年2月～2012年3月予定)

1. 民営化の趣旨とその成果

(3) 民間ノウハウの発揮による多様なサービスの提供②-2 【中日本高速道路株式会社】

サービスエリア・パーキングエリア事業、海外・旅行業・カード事業などの関連事業を各社独自に展開

サービスエリアの運営

○進化したサービスエリア「EXPASA」



お客様に旅の目的地として選ばれる新しいスタイルのサービスエリア「EXPASA」として新たにオープン



EXPASA足柄⑤(東名)

○新東名ネットワーク時代への対応

新東名ネットワーク時代を迎えるに当たり、各エリアの特徴(エリア・コンセプト)を際立たせ、何度でもご利用いただけるような魅力あるサービスエリアづくりを推進



新東名 沼津SA⑤(仮称)イメージ図『リゾートマインド』

○地域社会とともに

高速道路の周辺地域のお客さまにもSA・PAをご利用いただけるよう、一般道からアクセス可能な「ぷらっとパーク」の整備を推進



ぷらっとパーク(中央道 恵那峡SA⑥)

○新たな商品・サービスの企画

グループの女性・若手社員で構成するプロジェクトチームによる新商品など、これまでのSA・PAにはなかった新しい商品やサービスを開発



プロジェクトで開発した新スタイル・ハイウェイフード「ペコリアーノ・デリ」

新たな事業への展開

○海外事業

ベトナム事務所の開設、マレーシアPLUS社との人材交流など、アジア諸国を中心に、当社の技術・ノウハウを活用した高速道路事業への参入を目指した海外事業を展開



ベトナム道路公社との覚書締結(2007.11)

○旅行業

高速道路事業への理解を深めていただくとともに、地域の観光振興への貢献を目的とした当社ならではのツアーを企画・提供(2007年11月に旅行業登録)



新東名ウォーキングツアー

○カードサービス事業

「プレミアムドライバーズカード」を2007年に発行



プレミアムドライバーズカード

1. 民営化の趣旨とその成果

(3) 民間ノウハウの発揮による多様なサービスの提供②-3 【西日本高速道路株式会社】

サービスエリア・パーキングエリア事業、海外・カード・旅行業などの関連事業を各社独自に展開

快適な高速道路空間の提供

○エリア施設のリニューアル

SAPAを最低限のサービス提供からお客さまが満足する施設へ転換していくため、営業施設の全面改装を実施。(27箇所)



(名神高速道路 草津PA上り)

○多様なニーズへの対応

お客さまの不便の解消のため、24時間営業で利便性の高いコンビニエンスストア(38箇所)やカフェ(9箇所)等専門店を導入。

長距離ドライバーのためのシャワーステーション※(6箇所)やペットのためのドッグラン(25箇所)を設置。

※ 疲労回復と快適な運転のため、シャワー施設とともにコインランドリー、無料マッサージチェアを備えた施設



ハイウェイコンビニ
(徳島自動車道 吉野川SA下り)



ドッグラン
(山陽自動車道 三木SA下り)



シャワーステーション(九州自動車道 吉志PA下り)



海外事業への取組

○国内での高速道路事業の経験とノウハウを活かし、海外事業を推進

アジアにおけるPPP道路事業への参入、アフリカでの技術協力、米国での道路保全事業への参入、海外事業新会社の設立などを実施。



インドネシアでの意見交換会



サブサハラ地域の道路損傷状況



米国での橋梁点検技術の試験施工

当社の技術を活かした取組

○一般自動車道「芦有ドライブウェイ事業」への参画による地域への貢献



芦有ドライブウェイ

新たな事業分野へのチャレンジ

○インターネット宿泊予約サイト「みち旅」を開設(H21.3)

○「ハイウェイホテル」の営業(H20.4)

○「学生専用マンション」の運営(H21.4)



インターネット宿泊予約サイト「みち旅」



ハイウェイホテル(関門自動車道 壇ノ浦PA隣接地)

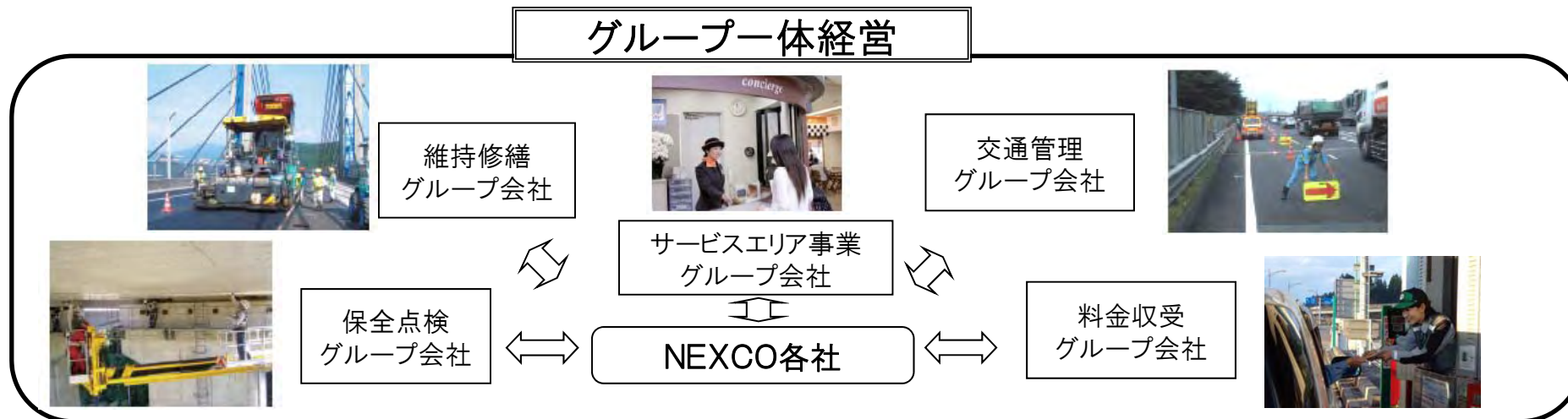
2. NEXCO各社による主な取組み

(1) 経営上の取組み①



グループ一体経営により、経営の効率性・透明性を向上

○NEXCO各社は、道路維持管理業務や、サービスエリアの運営業務などをグループ化し、グループ一体経営を確立、経営の効率性・透明性を向上



【2010年度連結決算状況】

(単位: 億円)

	営業収益	賃借料	法人税等	当期純利益
NEXCO東日本グループ	8,003	3,949	48	77
NEXCO中日本グループ	6,592	3,286	41	65
NEXCO西日本グループ	7,634	3,890	31	100
合計	22,231	11,127	120	244

- 民営化に際し、従前の管理コストを3割削減し、機構との協定を締結
- 民営化後も、積極的な新技術の採用、グループ会社との協働体制による効率化などの更なるコストの削減を実施

※端数処理の関係上、計数が合わないことがある。

2. NEXCO各社による主な取組み

(1) 経営上の取組み②



民間会社の経営管理を導入 ～中期経営計画の策定、CSR報告書の公表～

○NEXCO各社は、グループ共通の目標としてそれぞれ中期経営計画を策定
 ○CSR経営を推進し、CSR報告書を公表するなど、民間会社の経営管理を導入

NEXCO東日本グループは、高速道路の効果を最大限発揮させることにより、地域社会の発展と暮らしの向上を策し、日本経済全体の活性化に貢献します。

高速道路の効果 → 地域社会の発展 暮らしの向上 → 日本経済全体の活性化

NEXCO東日本グループは、地域・国・世代を超えた豊かな社会の実現に向けて、「つなぐ」価値を創造し、あらゆるステークホルダーに貢献する企業として成長します。

2020ビジョン
 ～「つなぐ」価値を創造～

5つのCONNECT

- Confidence 信頼と安心・安心空間の追求
- eco traffic industry company 世界へ飛躍する交通サービス企業への進化 価値を創造する
- Environment 顧客社会・従業員社会の実現へ貢献
- Community & excitement 地域社会を豊かにする動力的空間を創造
- Teamwork & technology 人と技術が育めるグループ力の向上

CSR Report 2010

Top Commitment

インベーションマインドを軸に、安全・安心・快適・便利な高速道路空間を提供するNEXCO東日本グループの企業価値を徹底的に高めています。

経営計画 2011
チャレンジ
 道を通じて感動を人へ、世界へ

【コーポレート・スローガン】
「道を通じて感動を人へ、世界へ」

【20年後のあるべき姿】
「夢」を実現できる会社

さらなる「高み」への挑戦

【5年後の目標】
世界一の高速道路会社

より良い会社で
 より強い会社

【私たちの役割】
 - 地域社会の発展と暮らしの向上
 - 日本経済全体の活性化
 - 世界の持続可能な成長

CSR報告書 2011
 道を通じて感動を人へ、世界へ

中期経営計画2015

自立と成長
 2014-16

コミュニケーションレポート
 2011

2. NEXCO各社による主な取組み

(2) 「安全・安心・快適」な高速道路空間の提供①



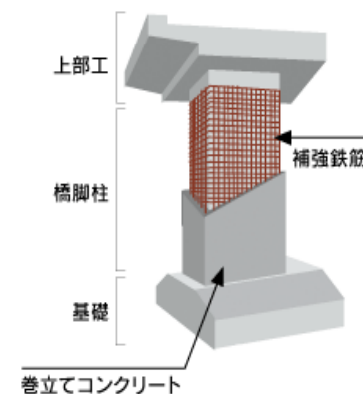
お客さまに24時間・365日間、「安全・安心・快適」な高速道路をご利用頂けるように、冬季の交通確保や災害に強い道路を創出

安全な冬季交通の確保を目指し、地域特性を加味した作業、対策を実施

災害に強い道路ネットワークの構築するため、橋梁耐震補強などを実施



《除雪作業(除雪車作業と人力作業を効率的に組み合わせ)》



《橋梁の耐震補強》



《凍結防止剤散布車》



《自発光スノホールド》



事例①防災通信システム



事例②災害対応型自動販売機

《防災対策の事例》

2. NEXCO各社による主な取組み

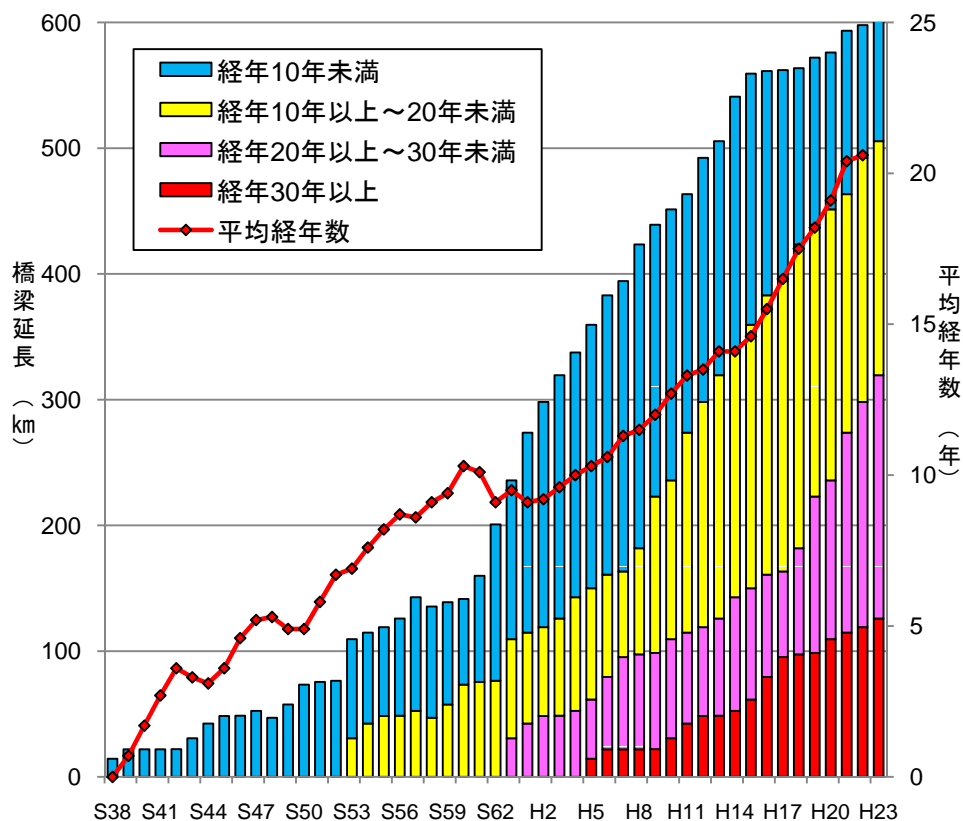
(2) 「安全・安心・快適」な高速道路空間の提供②



世の中に必要不可欠な社会インフラを24時間・365日間守り、後世に優良な道路資産を継承

■ 進行する橋梁の老朽化に対し、コンクリートはく落防止の緊急的な対策とともに、抜本的な高耐久化対策を推進。

事例; NEXCO西日本 橋梁経過年数



重交通路線・老朽化路線の床版損傷



《床版下面損傷》

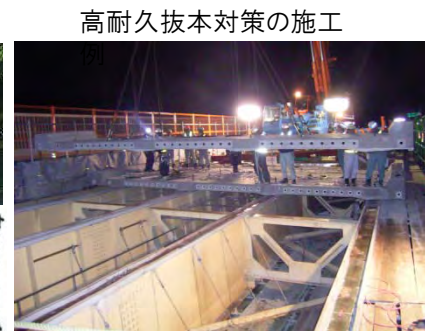


《床版上面損傷》



はく落防止対策の施工例

《はく落防止ネット》



高耐久抜本対策の施工

《PC床板取替》

2. NEXCO各社による主な取組み

(2) 「安全・安心・快適」な高速道路空間の提供③



安全・渋滞対策のための4車線化や付加車線の設置などを積極的に実施

【暫定2車線区間の4車線化】

《事例》

東海北陸道(郡上八幡～ぎふ大和)

暫定2車線時



4車線化後



【付加車線の設置】

《事例》

東名阪道(四日市JCT～四日市IC)

設置前



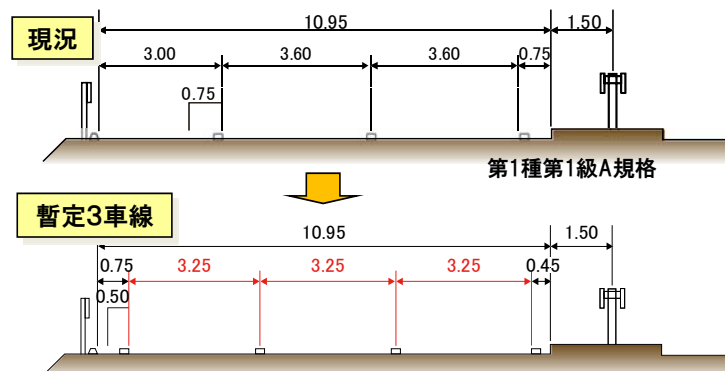
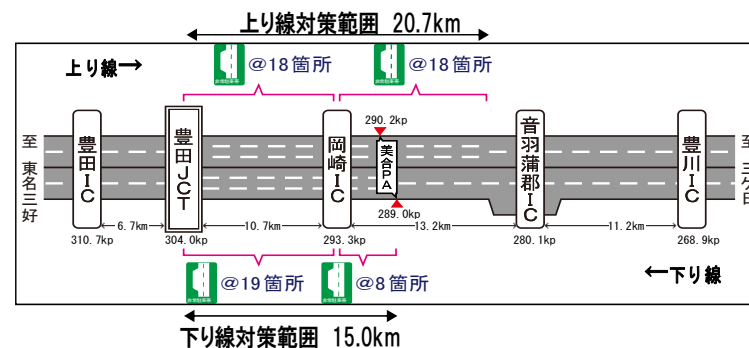
設置前後



【暫定3車線運用:事例】

全国最大規模で激しい東名(音羽蒲郡IC～豊田JCT間)の渋滞を緩和させるため、現在の道路幅の中で幅員を変更し、並行する新東名(引佐JCT～豊田東JCT間)が完成するまでの間、暫定的に3車線で運用する事業を展開

《暫定3車線運用のイメージ》



2. NEXCO各社による主な取組み

(2) 「安全・安心・快適」な高速道路空間の提供④



環境にも配慮・重視した道路建設・管理の対応

地球温暖化防止への貢献



《のり面植樹》

交通の流れを円滑化するとともに、のり面の樹林化や太陽光発電の導入により二酸化炭素排出量を削減



《掘割部地上部植樹》



《太陽光発電》



循環型社会形成への貢献

高速道路の管理運営・建設の事業活動において発生する「建設副産物」のリサイクルを実施



“自然にやさしいみちづくり”への取組み

道路と自然環境との調和に配慮し生態系への影響を軽減



生息・生育する動植物への影響を把握し保全を実施
《水生生物の生育生息環境整備》

急速充電器の設置とEV車の導入

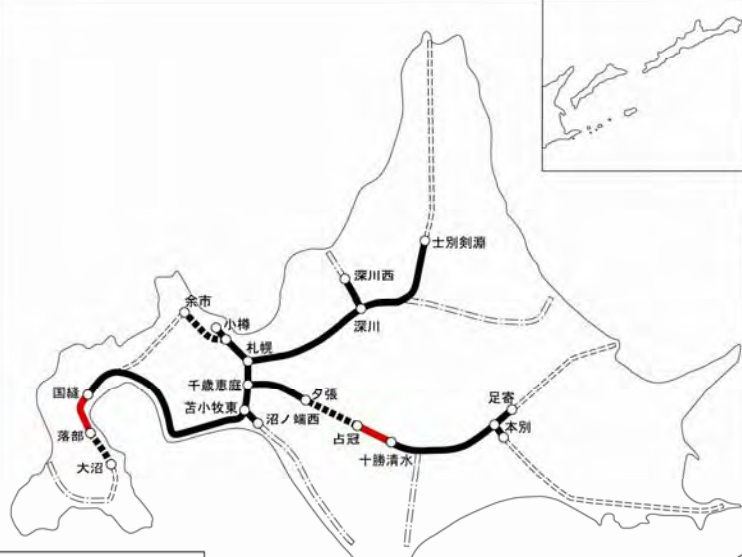
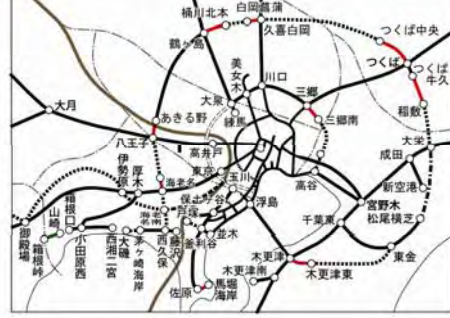
高速道路休憩施設に急速充電器を設置するとともに、業務用車両として電気自動車を配置



京阪神圏詳細図



首都圏詳細図



東日本高速道路(株)

中日本高速道路(株)

西日本高速道路(株)



凡 例	
	民営化以前の供用済区間
	民営化以降に供用した区間
	民営化以降に無料開放した区間
	事業中区間
	高速自動車国道の 基本計画区間等
	一般国道自動車専用道路

事業中のIC・JCT名は仮称